



◎昭和十三年度道路關係豫算の概要

支那事變擴大し長期戦を豫想せられ一般國費は其の支費を極度に節減するの餘儀なきに至り本年度道路關係豫算に於ても前年度に比し多額の減額を見るに至れり。

即ち第七十三議會の協賛を経たる十三年度豫算は十二年度當初豫算總額一四、二七五、六五七圓に對し總額一一、九二五、〇〇〇圓にして二、三五〇、六五七圓の減額なり。右十三年度豫算の内容左の如し。

(1)道路改修及助成費

總額 四、六三二、三八四圓

右は特殊國道の改良、地方に於ける府縣道の改良に對する補助、土木試驗所に要する費用並道路行政監督に關する經費にして其の内譯左の如し。

一、特殊國道改良費

總額 一、二五〇、〇〇〇圓

道路法第十條第二號の「主として軍事の目的を有する路線」に該當する國道の改良にして皆國費を以て府縣知事をして改修せしむる經費とす。

一、府縣道改良助成費

總額 四、一四八、三八四圓

右は四十五府縣に互る指定府縣道（東北六縣にありては一部普通の府縣道を含む）中最も改修の急を要する個所並飛行場其他軍事施設に通ずる府縣道の改良にして緊急差置き難きものに付府縣知事に於て施行する工事費に對し三分の一を補助する費用とす。

一、道路交通調査費

總額 一〇〇、〇〇〇圓

右は道路の交通情勢を調査する費用にして道路の改良を有機的綜合的に計畫施行する上に極めて必要にして嘗て昭和三年及同八年に之が調査を爲せるも其の後五ヶ年を経過し交通情勢に著しき變化あるを以て昭和十三年度に於て第三回目の調査を爲さむとす。

調査は國道、指定府縣道其他都市並に都市附近に於

て必要と認むる箇所約五、五〇〇箇所を選定し府縣及六大都市をして春秋二回各三日間に互り道路の交通量、交通物體、交通系統等を調査せしむる見込なり。

一、事務費

總額 一三三、〇〇〇圓

右は以上述べたる各項の事務に要する費用なり。

(2) 國道改良費

總額 三、〇九一、六一六圓

内 譯

一、事業費

總額 二、六七三、四二四圓

右は國道の整備改善の爲に一年度内に工事を完成し得る箇所にして交通上最も重要にして且つ之が施行は一定の計畫及工法に統一するの要あるものを選択し内務省の直轄工事とするものにして昭和六年度以降毎年引續き施行し來れるものなり。昭和十三年度に於ては二十二府縣下に互り二十三箇所の工事を施行する見込の費用にして内三分の一は地方に負擔せしむるものなり。尙此の内東北振興を加味し百十五萬三千四百二十四圓は東北六縣内の國道改良に充てらるる見込なり。

一、關門隧道調査費

總額 二〇〇、〇〇〇圓

右は關門隧道調査の費用にして該調査は昭和十二年度に開始し目下鋭意調査中にして昭和十三年度には調査の全部を完了する見込なり。

一、事務費

總額 二二八、一九二圓

右は以上に述べたる各項の事務に要する費用なり。

(3) 國道改良繼續費

總額 三、九三〇、〇〇〇圓

内

一、事業費

總額 三、六七三、四七九圓

右は國道改良工事にして數年を要するものを昭和十一年度より繼續費とし内務省に於て直轄施行し來れるものの繼續七箇所同十二年度起工のもの繼續七箇所及同十三年度新に起工せんとする三個所計十七箇所の工事に於て其の三分の一は當年度に於て地方に於て負擔するものなり。

一、事務費

總額 二五六、五二一圓

右は前項の事務に關する費用なり。

國道改良繼續費改定年度割表

(昭和十三年一月第七十三號會出)

尙國道改修に關する單年度の分と繼續の分とを合せ工事費は六、三四六、九〇三圓事務費 四七四、七一三圓、關門隧道調査費一〇〇、〇〇〇圓、合計七、〇二二、六一六圓となる。

因に國道改良繼續費に依り施行せらるる國道の路線並工事費年度割下表の如し。

尙右の他沖繩縣振興道路改良費として二〇〇、〇〇〇圓 鹿兒島縣大島郡振興道路改良費として七二、〇〇〇圓(何れも皆國費)を經上せり。

◎地方官變動

香川縣知事玉田昇次郎氏死去し其の後任として警視廳警務部長藤岡長敏氏が轉任せられた。

道路區名	改良區	想上年度區	年度別	總年度費	昭和十三年度割表					
					13	14	15	16	17	18
東京府	東上國道	昭和一十三年	總年度費	1,500,000	400,000	300,000	400,000	200,000	200,000	200,000
	東京府	昭和一十三年	地方費	1,500,000	400,000	300,000	400,000	200,000	200,000	200,000
神奈川縣	三浦國道	昭和一十三年	總年度費	4,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
	神奈川縣	昭和一十三年	地方費	4,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
千葉縣	房總國道	昭和一十三年	總年度費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
	千葉縣	昭和一十三年	地方費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
茨城縣	水戸國道	昭和一十三年	總年度費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
	茨城縣	昭和一十三年	地方費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
群馬縣	前橋國道	昭和一十三年	總年度費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
	群馬縣	昭和一十三年	地方費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
山梨縣	山梨國道	昭和一十三年	總年度費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
	山梨縣	昭和一十三年	地方費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
東京府	東京國道	昭和一十三年	總年度費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
	東京府	昭和一十三年	地方費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
山梨縣	山梨國道	昭和一十三年	總年度費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
	山梨縣	昭和一十三年	地方費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
山梨縣	山梨國道	昭和一十三年	總年度費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
	山梨縣	昭和一十三年	地方費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
山梨縣	山梨國道	昭和一十三年	總年度費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
	山梨縣	昭和一十三年	地方費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
山梨縣	山梨國道	昭和一十三年	總年度費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
	山梨縣	昭和一十三年	地方費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
山梨縣	山梨國道	昭和一十三年	總年度費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
	山梨縣	昭和一十三年	地方費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
山梨縣	山梨國道	昭和一十三年	總年度費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
	山梨縣	昭和一十三年	地方費	1,000,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000

### ◎幹事 死去

道路改良會幹事内務省土木事務官谷口松雄氏は今春以來病氣加養中であつたが、肝臓癌の症状を呈し慶應病院に於て入院中三月十三日遂に死去せられた。氏は明治二十九年



四月廣島市大須賀町に生れ、大正五年廣島私立修道學校卒業、八年八月廣島縣土木技手となり同十一年五月内務省土木局に轉じ内務屬となり昭和

二年六月茨城縣道路主事に榮轉在職滿五ヶ年、同七年十一月に至り内務省土木事務官に任せられ、土木局道路課に勤務鐵道事務官を兼ねられた。傍ら本會幹事とし執心會務を見られたが夫人つる子及外三兒を遺し他界せられた。

### ◎内務省土木試験所談話會

昭和十三年三月中に開催したる土木試験所談話會に於ける話題は次の通りである。

#### 第一六八回技術談話會話題

時日 昭和十三年三月十一日(金曜) 午後二―四時

場所 本郷區駒込上富士前町二六 内務省土木試験所講堂

一、小樽市の瀝青鋪裝供試體に關する試験結果に就て

(三〇分) 松本技手

二、鋪裝用アスファルト及び同骨材混合物の

溫度傳導率に就て (三〇分) 島田技師

三、暹羅國の土木工事視察談

(二時間) 坂本丹治氏

### ◎近刊圖書雜誌

◎自警(一〇卷三號)

◎警察協會雜誌(四五四號)

(種村一男氏) 受恩給者を本位にしたる恩給法の話、猪俣内務事務官(人民戰線運動の思想的意義と今次檢舉事件に就て)

◎東大陸(三月號)

(關山茂太郎氏) 事變の現状と北支開發途上の諸問題)

◎三田學會雜誌

○土木學會誌(二四卷三號)

(三宅發造氏) 石川縣下梯大橋災害復舊工事概要)

○土木(四〇號)

(澤二郎氏) コンクリート鋪裝龜裂の調査、石野明氏)

砂利道路路面破損に及ぼす影響)

○科學畫報(三月號)

○駿工(一四卷二號)

○技術日本(一八二號)

(宮本武之輔氏) 文官制度改革と技術官優遇)

○公園綠地(二月市民農園特輯號)

○鐵道軌道經營資料(二月號)

(三輪清一郎氏) 交通事業に於ける損益出界點並に沿線

人口及交通量の計算)

○道路研究會彙報(二月號)

(山田元氏) 路床の研究・第八回國際道路會議調查報告

書)

○大阪商工會議所月報(二月號)

(武田鼎一氏) 支那を如何に處理すべきか)

○日立評論(二十一卷三號)

○港灣(一六卷三號)

○觀光聯盟情報(二卷二號)

○法律時報(一〇卷三す)

○土木建築工事畫報(一四卷二號)

○セメント界彙報(三六〇號)

○電氣通行學界雜誌(一七九號)

○水利と土木(一一卷三號)

x ————— x

x ————— x